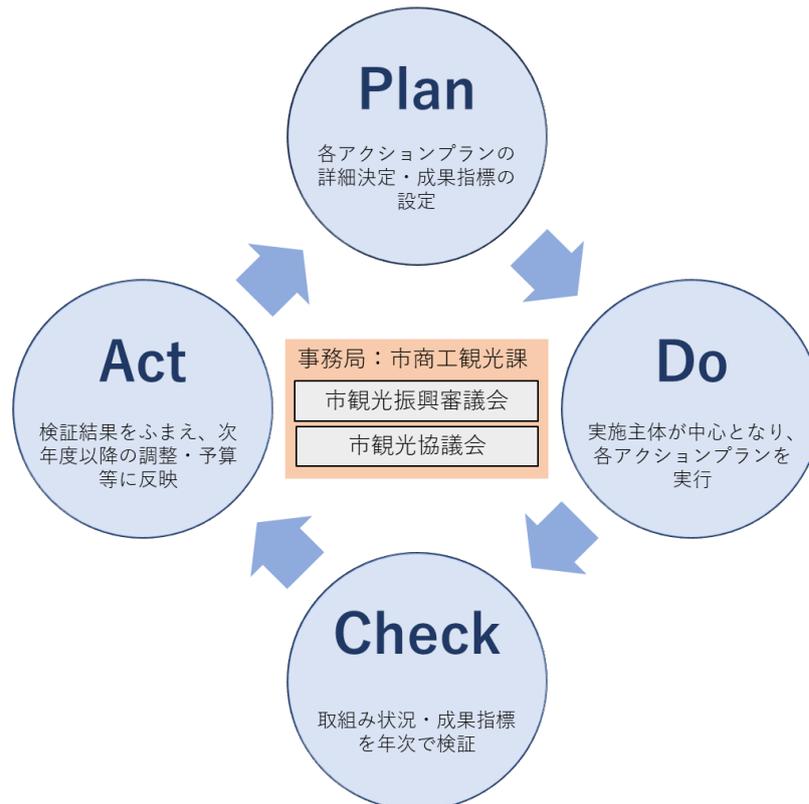


1. 第4期八幡平市観光振興計画の取組み状況と成果指標の検証について

1 計画の推進体制

令和4年8月に策定した第4期八幡平市観光振興計画の推進体制について、目標を達成するためのPDCAサイクルに基づく計画、アクションプランの実行、評価と検証、改善を市観光振興審議会や市観光協議会と連携し、数値を年度ごとに確認することで、取組み内容の見直しや目標値の検討を行いながら本計画を推進する体制としております。



2 検証にあたって

第4期八幡平市観光振興計画では、重要目標達成指標（KGI）と重要業績評価指標（KPI）をそれぞれ設定しております。

KGI は本計画で実現を目指す本市の観光の姿を表す指標として①～⑥まで設定されており、実績値をもとに分析、検証を行います。

- ①旅行支出額 ②旅行者数（観光入込客数等） ③リピーター率・再訪意向
- ④来訪者満足度 ⑤観光資源に対する認知率（市民） ⑥観光への関与意向（市民）

KPI のアクションプランごとの評価と検証については、具体的な事業の進捗状況や新たな課題の整理などを行うため、令和4年度の取組みを振り返りながら、アクションプランごとに検証票を作成し、取組み状況と成果指標の検証を行います。

3 重要目標達成指標（KGI）の検証

（1）旅行支出額について

①目標値

項目	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
日本人観光消費額	-	39億円	98億円	100億円	105億円	105億円	106億円
消費額 (1人当たり)	-	25,560円	26,000円	26,500円	27,000円	27,500円	28,000円
訪日外国人観光消費額	53億円	-	8億円	30億円	56億円	78億円	97億円
消費額 (1人当たり)	41,027円	-	42,000円	42,500円	43,000円	43,500円	44,000円

②令和5年度の実績値

日本人観光消費額	<u>98億円</u>	消費額（1人当たり）	<u>32,896円</u>
訪日外国人観光消費額	<u>29億円</u>	消費額（1人当たり）	<u>50,123円</u>

令和4年度の実績値

日本人観光消費額	<u>80.1億円</u>	消費額（1人当たり）	<u>22,118円</u>
訪日外国人観光消費額	<u>4.6億円</u>	消費額（1人当たり）	<u>36,286円</u>

③分析・検証

- 令和5年度の1人当たりの日本人観光消費額は、令和4年度と比較すると10,778円増加した。コロナ後の旅行需要の回復、宿泊施設等で客単価の向上及び滞在日数の増加によって消費額が伸びたと考えられる。
- 令和5年度の1人当たりの訪日外国人観光消費額は、令和4年度と比較すると13,837円増加した。中国の本格的な回復は未だにないものの、東南アジア各国や欧米豪の観光客数の増加により平均滞在日数が増加したことが要因と考えられる。

(2) 旅行者数（観光入込客数等）について

①目標値

項目	令和元年度 (基準値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
観光入込客数	1,879千人回	1,700千人回	1,850千人回	2,000千人回	2,200千人回	2,400千人回
延べ宿泊客数	514千人回	400千人回	450千人回	520千人回	560千人回	600千人回
外国人観光客入込数	129,476人回	20,000人回	70,000人回	130,000人回	180,000人回	220,000人回
教育旅行者数	24,529人回	15,000人回	18,000人回	22,000人回	26,000人回	28,000人回
スポーツ関係宿泊数	16,374人	16,000人	17,000人	18,000人	20,000人	22,000人

②令和5年度の実績値

観光入込客数	<u>1,635,370人</u>
延べ宿泊客数	<u>365,716人</u>
外国人観光客入込数	<u>58,951人</u>
教育旅行者数	<u>12,454人</u>
スポーツ関係宿泊数	<u>14,502人</u>

令和4年度の実績値

(1,511,778人)
(375,448人)
(12,663人)
(21,641人)
(20,302人)

③分析・検証

- ・令和5年度の観光入込客数は、令和4年度と比較すると123,592人増加した。閉鎖や休業した施設の影響はあるものの、コロナ前の数値に近づいている。
- ・延べ宿泊客数は、令和4年度から9,732人の減少で、特に7月・9月の低下が大きく影響している。
- ・令和5年度の外国人観光客入込数は、コロナ後のフルシーズンで、令和4年度に比べて大幅に回復した。外国人観光客の国・地域別割合は、台湾55%、中国12%、香港9%、韓国8%、オーストラリア5%、タイ5%、アメリカ3%と占めており、中国の回復が遅れていることや、コロナ後の初年度ということもあり、ゴールデンルートを中心に回復が進んだため、地方部の回復が遅れたと考えられる。

(3) リピーター率・再訪意向について

①目標値

項目		令和元年度 (基準値)	令和3年 12月～ 4年6月	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
リピーター率	日本人	-	83%	82%	81%	80%	80%
	外国人	55%	-	55%	57%	58%	60%
再訪意向 (7点満点※)	日本人	-	6.54	6.55	6.56	6.58	6.6
	外国人	5.82	-	5.9	6.1	6.3	6.6

※7点=強く再訪したいと思う、6点=再訪したいと思う、5点=やや再訪したいと思う、4点=どちらでもない、3点=やや再訪したくない、2点=再訪したくない、1点=強く再訪したいと思わない

②令和5年度の実績値

リピーター率 日本人 66.3% 外国人 25%
再訪意向 日本人 6.25点 外国人 6.14点
令和4年度の実績値
リピーター率 日本人 78.2% 外国人 36%
再訪意向 日本人 6.37点 外国人 5.94点

③分析・検証

- ・令和5年度の日本人リピーター率は、令和4年実績値と比べて11.9%減少した。
観光入込客数や延べ宿泊客数が伸びていないにも関わらず、リピーター率が低下したことは懸念されますが、リピーター率の高い県内・近隣県からの旅行客が、コロナの影響で近場の観光で済ませていたところ、観光需要の回復に伴って、遠方への旅行を増やした反動が要因と考えられる。
- ・令和5年度の外国人リピーター率は、令和4年度実績と比べて11%減少したことは、国籍の多様化に伴い、初めて訪れる外国人が増えたものと考えられる。

(4) 来訪者満足度について

①目標値

項目		令和元年度 (基準値)	令和3年 12月～ 4年6月	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総合満足度	日本人	-	6.24	6.25	6.26	6.28	6.3
(7点満点※)	外国人	6.1	-	6.15	6.2	6.4	6.6

※7点=とても満足、6点=満足、5点=やや満足、4点=どちらでもない、3点=やや不満、2点=不満、1点=とても不満

②令和5年度の実績値

総合満足度 日本人 6.13点 外国人 6.05点

 全国平均 日本人 6.02点 外国人 6.63点

令和4年度の実績値

総合満足度 日本人 6.11点 外国人 5.88点

③分析・検証

- ・令和5年度の日本人、外国人総合満足度は、令和4年度の実績と比較すると増加しており、日本人については全国と比較しても高い値であるが、外国人は全国平均と比べて低く、交通利便性、飲食店、買い物での満足度が低い要因となっている。
- ・ホテルやスキー場の満足度を分析すると、ホテルではスタッフの満足度が高く、スキー場ではゲレンデの満足度が高い結果となった。

(5) 観光資源に対する認知率（市民）及び観光への関与意向（市民）について

①目標値

アンケート調査により基準値（現状値）を設定後に目標値を定めました。

観光資源認知度 87.7%

観光客増加に対する前向きさ 6.45点（7点満点）

観光客へのおもてなし意向がある市民の割合 90.6%

- ・市民の約9割が観光資源の認知度があり、多くの市民が観光客の増加を前向きに捉えていることがアンケート調査により結果が表れています。
資源としては火山や温泉に加えて地熱を挙げている市民も多く、地熱が市民にとって重要な八幡平の資源である認識があることがわかりました。他には、ウィンタースポーツやトレッキングも身近なアクティビティとなっています。